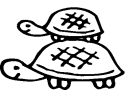


ちゅうりっぷぐみだより

2018年 8月 第2号



ある日のこと・・・



真夏の日差しがぎらぎらと照りつける日が続く、この暑さが一向に衰える感じがしません。そんな中、暑さもなんのそので、元気に登園し、子ども達の笑顔が、太陽に負けないくらいピカピカと輝いています。まだまだ暑い日が続きますので、こまめに水分補給を行い、体調の変化に気を付けながら、暑い夏を楽しく過ごしていきたいと思ひます。

夏本番

夏の自然にたくさん触れ、汗をかきながらも毎日元気いっぱい過ごしている子ども達。砂場で遊ぶ際に「裸足になって遊んでいいよ」と声を掛けてみると、最初はほとんどの子がしっかり靴下、靴を履いて戸外に出ました。「裸足も気持ちいいよ」と保育士が裸足になると、子ども達も興味を持ち、一人、二人と裸足になる子が増えてきて、「ザラザラする」「冷たいね」「気持ちいいね」など砂の感触を楽しんでいました。徐々に遊び方も大胆になり、足を埋めたり、穴を掘って入ったり、寝転がって遊んだり砂だらけになって遊んでいました。最近では、戸外で遊ぶ際には「裸足になってもいい？」と子ども達の方から聞いてきて、裸足になって砂場まで走っています。また、砂場に水を運んで泥んこ遊びも楽しんでいます。水を運ぶ際には、小さなカップに水を入れる子もいて、持ち歩いているうちに水がこぼれてなくなってしまうたり、ザルで運ぼうとしたり、なかなか上手くいかない事もありますが、色々考えながら楽しんでいる子ども達です。他にも、プール遊び、ボディペインティング遊びを行い、夏ならではの遊びを思い切り楽しんでいます。雨上りには水たまりに入って遊んだりもしたいのですが、なかなか雨が降らず、皆で水たまりが出来るのを心待ちにしています。

海に散歩に出掛け、貝殻などを拾ったり、砂浜を走ったり、寝転んだりして楽しんでいると「キャー」と女の子の悲鳴が聞こえてきました。何かと思い様子を見に行くと、女の子が「なす…」と泣いていました。なすと聞いても野菜の茄子しか思い浮かばず、“海で茄子？”と最初は何を言っているのかが分かりませんでした。しかし、子どもの仕草を見てみると、どうやら靴の中に何かが入った様子。何が入ってしまったのか靴を脱いで見てみると砂しか入っていませんでした。何だろうと考えているうちに、ナス？、スナ？、砂！と気づき「砂が入っちゃったのね」と言うと、女の子もうなずいてくれました。靴の中に砂が入ってびっくりして、「ナス」になってしまったのでしょうか。靴の中の砂を取ってあげると、また元気に走り回って遊んでいました。



なんでもチャレンジ



ちゅうりっぷぐみでの生活も4カ月が過ぎ、自分で出来る事も増えてきました。登園後にはカバンからお手帳、タオルを出したり、靴下の片付けを自分で行います。給食の際にはスプーンセットを用意し、自分で最後まで食べたり、片付けも頑張っています。パジャマに着替えたり、脱いだ衣服の片付けをしたりすることも上手になりました。また、衣服を汚して着替えが必要な時には、自分達で必要な物を出してきて着替える事も出来るようになりました。最近では、お茶を飲む際にコップを持って、ジャグからお茶を入れる事にも挑戦中です。上手く出来ずにこぼしてしまう事もあり、先生の手を借りる事もありますが、だいぶ慣れてきました。生活の中で、様々な事を経験しながら成長していく子ども達。時には思うように出来ない事もありますが、失敗しながら覚えていく事も沢山あると思うので、上手くいかなくても頑張ったことを認め、沢山褒めながら、これからも自分で出来る事を増やしていきたいと思ひます。

